

c o n t e n t s

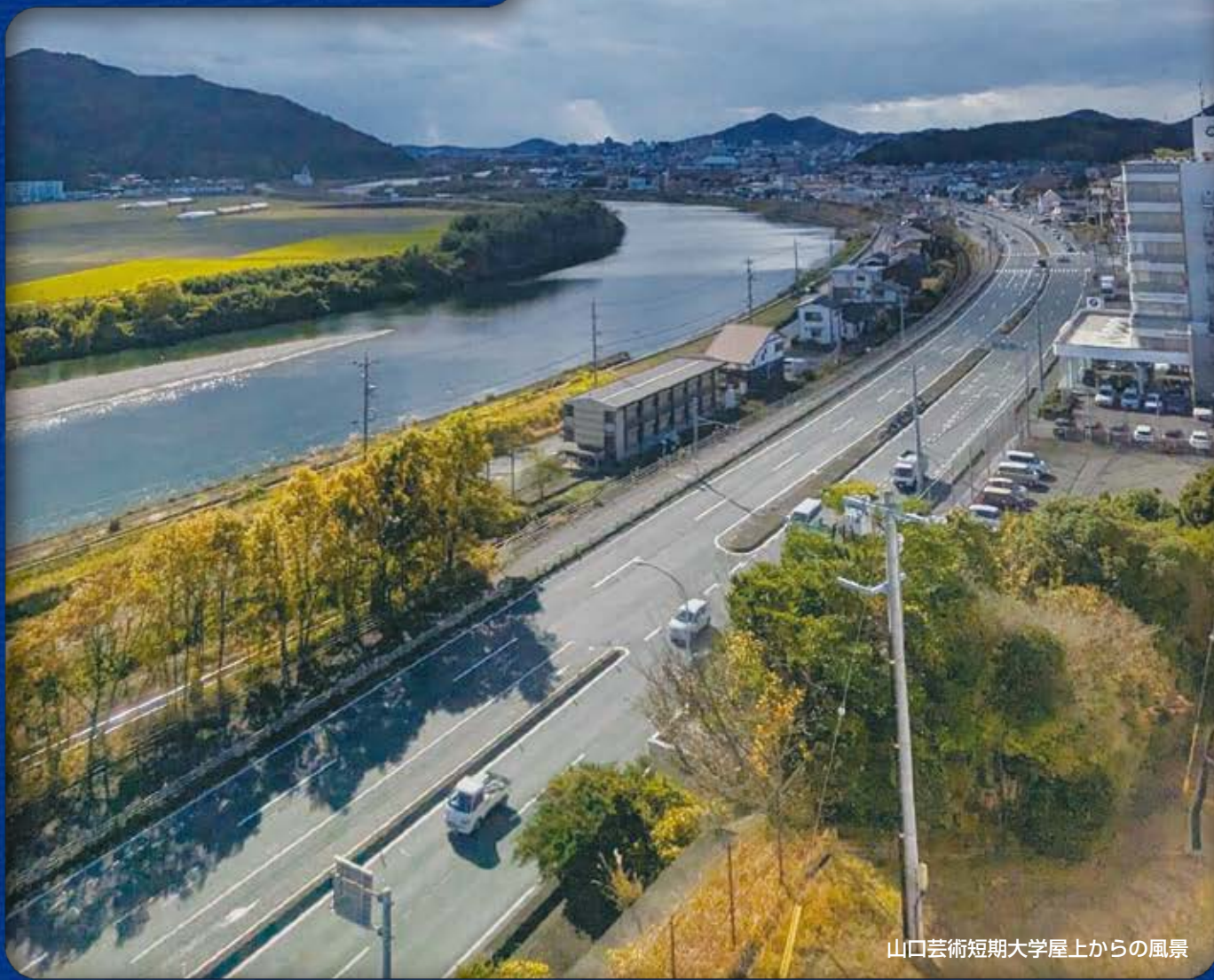
- 芸短 Campus MAP — 2・3
- 山口芸術短期大学 now! — 4
高連携協定締結について聞いてみた
- しよびレポート — 5
3年ぶりの芸大祭参加!
しよび役員よりHAPPY REPORT
デザインコンペのご報告
- 頑張つちよろよ、同窓生! — 6・7
- 大同窓会のご案内 — 8
母校への寄贈品のお知らせ
寄付のご案内
同窓会役員構成
編集後記

至誠

SHISEI

山口芸術短期大学
同窓会しよび 会報誌

vol 4 2024年3月20日発行



山口芸術短期大学屋上からの風景



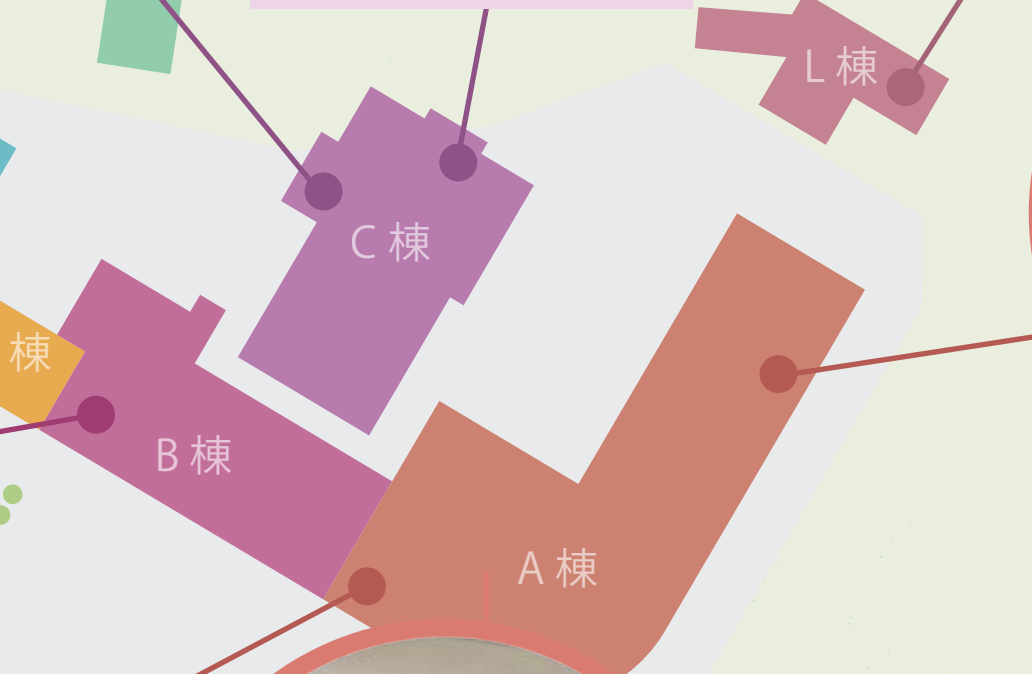
ML室

鍵盤学習システム (ML) の教室です。一斉指導が可能で、効率よくピアノが学べます。



L棟

個室が並んでいます。ピアノや電子オルガンなど個人レッスンに最適です。



A304

デザイン、動画、画像編集をするならここ！
必要なパソコンやソフトウェアがそろっています。



小学校模擬教室

臨場感あふれる学びを可能にする小学校を模した教室です。



坂

案内人
けいちゃん

デザイン：芸術表現学科 1年 田村 砂羽 永富 光

卒業生の皆さん、ぜひ遊びに来て、マップで紹介した教室を巡り思い出話に花を咲かせて下さい。お待ちしております！

Campus MAP

学内の新しいところ、懐かしいところを
案内人のけいちゃんと一緒に巡ってみよう！

C20

学生が集う憩いの場です。
静かで自習にもぴったりです。



M 棟

G 棟

体育館

F

G10

デッサンや絵画で使用する、
アトリエらしさ溢れる教室で
す。



図書館

B401

ピアノや管打楽器が揃う教室
です。主に吹奏楽や合唱の授
業で使われます。



模擬遊戯室

保育現場での劇や音楽会を
想定した教室です。ステージや壁面
鏡、暗幕や照明などが備え付けら
れています。



山口芸術短期大学 now!

高大連携協定締結について聞いてみた

この度は、山口芸術短期大学教授、保育学科長並びに教育・保育支援センター長である弘中順一先生(以下、弘中先生)に「山口芸術短期大学と中村女子高等学校との高大連携事業に関する協定」についてのお話を田良副会長が伺ってきました。



連携協定締結の様子

③ 具体的にはどのようなことが行われるのですか？

弘中先生 生徒及び学生に関しては、本学保育学科の授業等への中村女子高等学校の生徒の参加や保育等に係る各種イベントでの連携が主な内容になります。その他にも双方の教職員による授業参観等の実施、保育士等養成教育に係る高大接続に関する調査研究なども行います。

④ この高大連携事業の背景には、少子化や保育士不足などの社会情勢も大きく関わっているように思いますが、いかがでしょうか？

弘中先生 本学保育学科におきましては、これまでも地域の保育現場と連携を取りながら多くの保育者を地元で輩出しております。しかしながら、昨今の少子化や保育士志望者の減少を受け、保育学科では募集人数100人に対して、直近3年間で定員割れが続く状況となっております。一方で全国的にも保育士需要は高く、人材の供給が追い付いていないのも現実です。

⑤ そのような高大連携事業に取り組みたいですね。

弘中先生 この協定以前から山口芸術短期大学は中村女子高等学校でいわゆる『出前授業』を行うという連携協力関係にはありましたが、昨今の保育者不足の状況に対して、より一層効果的な成果を上げるためには、本学保育学科の2年間だけではなく、高校生にも保育の魅力を伝えるため、中村女子高等学校の福祉科保育コースの3年間の間に大学



多才な弘中先生

レベルの教育に触れる機会を設ける取組みなどから『5年間の学び』に一貫性を持たせたい。このようなことから、これまでの連携を一步も二歩も押し進め、高校から本学保育学科卒業までの5年間、保育の道を志す高校生が見通しを持って力をつけられるよう、高大連携協定を提案し、締結に至りました。

⑥ 今回の協定締結により、これまで以上に双方の連携協力関係を強化することにより、山口県における保育者不足の解消とより質の良い保育者の排出に寄与し、相互の好循環が期待されます。最後に山口芸術短期大学の今後のビジョンを教えてください。

弘中先生 建学の精神『至誠』の心の継承と、芸術を基盤とする教育から時代の求めるSTEAM教育を展望し、リベラルアーツ教育を充実することで、地域で輝くオンリーワンの保育・芸術系短期大学をめざします。

⑦ この度は、ご多用中にも関わらず2時間もインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございました。なお、このインタビュー中には、連携協定の説明だけでなく、造形あそびの事やフルマラソンに参加したときの話。チェロや尺八の演奏や水泳のことなど、弘中先生の御人柄も知ることができ、とても充実した時間を過ごさせて頂きました。

学生のうごき

近年の入学者、卒業者数の統計

	令和4年度	男	女	合計
令和5年5月現在	入学人数	6	111	117
	卒業人数	5	126	131
	進学人数	0	3	3
	就職人数	5	114	119
	令和5年度	男	女	合計
令和6年3月1日現在	入学人数	11	102	113
	卒業人数	6	107	113
	進学人数	0	0	0
	就職人数	5	99	104



左：弘中順一学科長 右：田良浩樹副会長

SHOBI REPORT
しょうびレポート



3年ぶりの芸大祭参加!!

令和5年11月4日(土)、5日(日)に第53回芸大祭が開催されました。近年はコロナ禍のため、中止もしくは縮小という形を取っていた芸大祭ですが、今年度は、1日目は一般公開、2日目は関係者のみでの開催で、模擬店も復活! マスクも外して活気あふれる芸大祭が戻ってきました。また、これまで我々同窓会しようびも「しょうび祭」として参加していましたが、3年ぶりに2つの企画で参加してきました。

一つは、デザイン部門によるモザイクアート! この企画は今回で3作品目。3年ぶりということで、ほとんどの学生さんにとっては初めましてのモザイクアートです。今回も、4枚のパネルに1.5センチ角の約8、000ピースの色紙を指定の場所に貼っていく、全て貼り終わったら後に4枚のパネルを合わせると作品が見える、という内容です。学生さんも一般のお客様も積極的に参加してください。貼り待ちができるほどでした。熱心に貼り続けてくれる芸術表現学科の学生さんの活躍もあり、順調! と思いきや、色紙のピースが足りなくなるアクシデントも起こりました。それでも、皆さんのご協力により予定時間までに最後の1ピースを残すのみとなりました。最後の1ピースはメインステージの上で、多くの学生さんに見守られながら、芸大祭実行委員長に貼ってもらいました。そのままステージ上で完成作品を披露することができました。

今回の作品はルネ・マグリット作の「The Big Family」でした。完成が近づいても4枚のパネルが合わさらないと全貌が見えない、また、モザイクなので少し遠くからでないと見えない...そこがモザイクアートの面白い

ところですね。今年もみんなでやりきりました!

もう一つの企画はアルコロールインクアートワークショップ! 今回初開催です。保育学科卒業生でアルコロールインクアートに魅了された井上さんが、アルコロールインクアートの魅力を母校の学生さんにも届けたい! という思いから、今回実現に至りました。紙の上にインクを滴らし、いろんな角度から風を送り、インクを動かして模様を作ります。偶然にできたその模様でコースターやキーホルダーなどのアイテムを作ります。滴らして、風を送るだけなので、小さなお子さんでもアートを感じる事ができます。役員も体験させてもらいましたが、デザイン系学科出身の役員はかなり夢中になり、凝った作品が完成していました。一般公開の1日目は、多くのお客様に参加していただき、想定以上の賑わいに嬉しい悲鳴も...。お子さんからも初めての体験だったようで、楽しそうに、真剣にアートに触れていました。初めての企画でしたが、今後も続けていきたい企画となりました。

しょうびの企画に参加協力してくださった皆さま、また、柔軟に対応して受け入れてくださった芸大祭実行委員の皆さま、本当にありがとうございました!

なお、11月5日(日)には昨年度に引き続き、「ホームカミングデー」も開催されました。同窓会しようびからは4名が参加し、近況報告と意見交換が行われました。山口芸術短期大学と同窓生とのつながりがより充実するよう、今後も様々なことにチャレンジしていきます!



しょうび役員より
HAPPY REPORT

しょうびが結んだ愛
2023年6月11日
藤原知明♡藤本愛梨 結婚!



二人の出会いが2018年の芸大祭同窓会企画のしょうび祭でのモザイクアートでした。来場者に小さく切った色紙を渡し貼ってもらい、一枚の大きな作品に仕上げる、今となってはしょうび祭には欠かせない企画です。

この企画は藤原くん(新郎)の企画で、紙を貼る枚数が多いので完成できるかどうか、企画者本人は心配していました。そんな中、完成を目指してひたすら色紙を貼る藤本さん(新婦)を見て何か惹かれるものが...その後二人は順調に交際を続け、約4年間の大恋愛を交わすことに結婚!



披露宴には芸術表現学科恩師の三輪先生をはじめ、しょうび役員も参加して二人の門出を祝福! 同窓会役員同士の結婚というところで喜びもひとしおでした。緊張の中にもこれから二人で歩いて行くんだという強い決意を感じました。二人の未来がいつまでも明るく輝くよう末永くお幸せに!

デザインコンペのご報告

デザインコンペ2023の選定へ行ってきました。2020年から山口芸術短期大学が全国デザインコンペを開始、クリエイターの発掘育成への新たな取り組みを始めた。入賞作品は県内様々な場所で展示され、多くの人々に高覧いただき、地域のデザイン文化振興の一助となっております。今年も「第4回デザインコンペ: BASIC DESIGN COMPETITION 2023」が開催されました。今回も同窓会しようびとして協賛し、デザインイラスト部門で「しょうび賞」を選ばれました。

事前に厳選なる審査を通過した作品の中から一点、これからの夢や希望の励みになればと思いついて、役員より4名が選考しました。近年このような大学の事業や支援などにも力を入れている同窓会としては、未来を担う関わりが大学と連携し活動できること大変うれしく感じます。毎年開催され、一般の部門もありますので同窓生の皆様も是非参加してみてくださいいかがでしょうか?

主催者詳細は「チラシ」
〒754-0003
山口市小郡のみどり二丁目7番一号
山口学芸大学 山口芸術短期大学
デザインスタジオのみどりデザインコンペ」
担当: 企画連携課
e-mail: kikakuenkei@yamaguchi-ja.ac.jp



山口芸術短期大学
同窓会しようび賞 選考の様子



頑張っちょよ 同窓生!

社会人から歌う音楽療法士へ

音楽学科40期 櫻田 陽子さん

17年前、手術後ヘッドのなかでCDを聞きながら「こんな風に歌えたらどんなに気持ちがいいだろう」と思い、2週間後には歌を習い始めました。そして、山口芸術短期大学に、社会人入学の制度があることを知り、半年後には仕事を辞め、音楽学科に入学しました。



以前は病院で看護師をしていましたが、若短で音楽療法を知り、興味を持ったことから、現在は高齢者施設で音楽療法やレクリエーションを主に行っています。音楽療法では難しさを感じながらも、険しい表情で入所された方が笑顔になられたり、食事を含め全てを拒否され、全く食べられなくなっておられた認知症の方が歌によって食べられるようになるなど音楽療法の効果もしっかりと感じることができ、やりがいを感じています。

また、歌の方では、個人的にソロで歌うだけ

でなく、アンサンブル細くして活動したり、コーラスグループ・コーロ・ドルチェの代表として活動しています。コーロ・ドルチェは若短で師事した音楽家のモチエオ久美先生の指導、県内外でピアノリストとして活躍されている山根浩志先生のピアノという大変贅沢な環境でコーラスを楽しんでいます。久美先生はとても分かりやすく楽しく指導してくださり、山根先生のピアノはとても美しく、いつもアレンジして演奏してくださるので、みんなとても楽しみにしています。月2回、宇部市で夜に練習しているのでお仕事のある方も参加しやすいと思います。メンバー募集中です。お気軽にお問い合わせください。

看護師をしていた頃は、夜勤をしていたこともあり、人間関係としてはかなり固定的でしたが、歌をはじめて芸短へ行ったことで、職場の仲間だけではなく、音楽を通して様々な方と接することができ交友関係も広がったと感じています。

今改めて振り返ってみると、あの時に社会人入学の制度があったおかげで、自分の人生が随分変わったと感じています。あの時決断して良かったなとも思っています。現在は歌だけではなく、人と本をつなげる活動や、朗読・絵本などにも興味を持っています。これからも仕事があるからできない…など、何かに囚われることなく、柔軟に生きていきたいと思っています。



ダンスを通して~STUDIO TRAP MOOD~

保育学科28期 長沼 果肖さん

山口市阿知須でダンス・DJレッスン、レンタルスタジオの経営をしています。コース分けがあり3歳〜60代の方まで幅広い年齢層の方が通って下さっています。

私は幼児期からモダンバレエをしていましたが、高校生になった頃からストリートダンスに興味を持ち転換して趣味としてやってみました。その当時の私は、子供が大好きで保育士である母の影響もあり、将来の夢は保育士でした！夢を叶える為に山口芸術短期大学保育学科に入学しました。入学してすぐに先輩からダンスサークルに誘って頂いたところから、どっぷりとダンスにハマっていき、卒業後上京して仕事をしながらダンスを学び、ダンサーとして沢山の事に挑戦しました！そのうちインストラクターの仕事をする様になつてからは子供達に教える事を通して山口芸術短期大学で学んだ事が活かしていることを確実に実感しました！



私が起業するきっかけになったのは紛れもなく出産でした。我が子を育てていく上で沢山の事を考える様になり、そこで山口商工会議所の起業塾に参加し自分自身の棚卸しをする事で、自分にはダンススタジオしかない！と思ったところから色々な方の支援がありとんとん拍子にSTUDIO TRAP MOOD

がスタートしました。今はたくさん生徒さんが通って下さっています！生徒さんは県内外でのショーやダンスコンテストなどにも挑戦して良い結果をたくさん残しています！色々な経験から上達していく子供達、ダンスを通して学び、成長していく姿にとてもやりがいを感じており、私自身も成長させられています！



現在、DJレッスン(旦那がDJです)も子供から大人まで大変盛り上がっています！とてもアットホームなスタジオなので興味がある方は是非お立ち寄りください！私はこれから前進！沢山の経験をしていきたいと思っています！山口芸術短期大学の皆さんも可能性は無限大なので、やりたい事を思い切り突き進んでやって欲しいです！



保育と芸術「アルコールインクアート」

保育学科38期 井上 智美さん

★保育と芸術に関わりたい

幼稚園教諭や保育士として働き、7年ほどになります。この職を選んだ一番の理由は、子どもの成長を身近に感じたいからです。そして、保育に欠かせない音楽や芸術にも興味があり、絶対楽しいと思ったからです。結婚し、出産しても保育や芸術に関わりたいという気持ちは続いています。そこで、個人的に親子支援の活動を始めました。「アルコールインクアート」のワークショップの開催です。これはアート技法のひとつで、子どもや大人も楽しめる芸術です。「子ども×芸術」への思いは、これからも私の人生にずっとあるものだと思います。



★保育と芸術に触れて

幼児期の終わりまでに育てて欲しい「10の姿」のひとつ、「豊かな感性と表現」。心を動かす出来事などに触れ感性を動かせる中で、様々な素材の特徴や表現などに気づき、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しむ喜びを味わう。幼児教育の共通指針にあるものです。保育と芸術の組み合わせは、子どもの成長や学びに多くのメリットをもたら

します。芸術活動を通じ、自己表現や創造性を発揮し、自信を育むことができます。また、芸術は子どもの感性や感情を豊かにし、豊かな人間性の形成にも寄与します。子どもに限らず、大人になっても、感性や表現を楽しむことは大事だと考えています。

★「できたー」を形に

「絵が苦手だから芸術に興味がない」「自分の下手な絵を見たくない」鉛筆や絵の具を手にすると、躊躇う方もいます。でもこの「アルコールインクアート」は、3ステップで簡単に芸術作品が仕上がります。アルコール・インク・風の力を使い、偶然にできた模様を楽しむことができるのです。活動を始めて、2歳から大人まで、たくさんの方のアートを見ることができました。私も身も虜になり、自身の絵柄を生み出し、作品を創っています。仕上がった作品を見て、「できたー」と自己肯定感が高まります。「アルコールインクアート」ってなんだ？と気になった方、是非検索してみてください。「やってみてみたい」になるかもしれません。その時は、是非一緒にアートしましょう！自分だけのたった一つの作品に出会えます。また、自身のお子様への経験や自分を見つめ直す時間、とても大事な「できたー」に繋がること間違いなしです。



工房 アリイ

生活芸術科11期 内山 久美子さん

山口市湯田温泉商店街から、狭い路地の裏にある建物の二階に位置する小さな工房「アリイ」。この店主である内山さんは、湯田を元気にするための街おこしの一つとして、白狐の伝説にまつわるグッズを作っています。街のあちこちに立っている狐の石像をはじめ、様々なグッズを考案・製作し、それを広めるために工房アリイを開業しました。「アリイ」とは、テニス用語の「セイク」からとっていて、「小道」「狭い通り」という意味で、お店の場所になんていいます。アリイ店内には、白狐をモチーフにした手ぬぐい、タオル、狐面などの様々なグッズや、萩焼体験をする為の道具などが置かれています。



内山さんがグッズ制作するにあたって大切にしている想いがあります。それは「みんなが元気になること。アリイは商品の一部を就労支援施設に制作を依頼しています。障がい者も健常者も楽しく仕事をしてほしい」という思いから、市内の施設を回り、白狐グッズ制作の交渉をし、共同開発した貯金箱や土鈴の販売を開始しました。そのうちお客様から「自分で絵付けをしてみたい」とい

う要望があったことから、それぞれの絵付け体験ができるようになりました。今では萩焼体験と絵付け体験はどちらも同じくらい大好評になっています。

内山さんに、お店をやっている一番楽しいのはどんな時かを聞くと、「いつも楽しい」とのこと。実は人見知りで、仕事で人と接するのはいいが、そのほかの場面ではなかなか積極的になれない内山さん。しかしアリイにいるときは、初めての体験でうまくいかないうお客様にアドバイスや手直しをしていくうちに、友達のように接することができ、「いい作品ができた」と喜んでもらえることが何より嬉しいそうです。

興味のある方はぜひ、小道を散歩して工房アリイに来てみてくださいね。



5年に一度の『大同窓会』のご案内

2024年（令和6年）11月、山口芸術短期大学同窓会「しょうび」の大同窓会（総会）を母校、山口芸術短期大学にて開催する予定です。5年に一度の開催となり、様々な企画を計画しています。同期の友人、先輩や後輩に母校で会える貴重な機会となりますので、お誘い合わせのうえでご参加お待ちしております。詳細につきましては、2024年8月以降にご案内を郵送する予定となっておりますが、届かない場合は下記事務局までご連絡をお願いいたします。



前回(2019年)の様子

同窓会役員構成

- 名誉会長 三池 秀敏（山口芸術短期大学学長）
 - 会長 長谷川貴志（生活芸術科27期）
 - 副会長 田良 浩樹（幼児教育科21期）
竹内 美幸（音楽学科42期）
 - 書記 久富 和也（保育学科36期）
 - 顧問 内山久美子（生活芸術科11期）
 - 幹事 若崎 智子（生活芸術科9期）
杉本 紀子（音楽科12期）
大野 恵子（幼児教育科6期）
中尾 優太（保育学科32期）
服部 憲尚（音楽学科41期）
森重久美子（音楽学科42期）
 - 中西 朱里（デザインアート学科42期）
 - 木村 祥子（芸術表現学科44期）
 - 藤原 愛梨（芸術表現学科44期）
 - 井上 智美（保育学科38期）
 - 藤原 知明（芸術表現学科46期）
 - 岡本 優香（芸術表現学科47期）
 - 神木 綾乃（芸術表現学科47期）
 - 会計監査 川手 艶子（音楽科12期）
船木 一顕（山口芸術短期大学事務局事務課長）
 - 事務局長 原井 進（山口芸術短期大学学生部学生課長）
 - 会計 狩山美重子（山口芸術短期大学学生部）
-
- 中国支部 金築 敏久（生活芸術科9期）
 - 九州支部 外磯宏二郎（芸術表現学科44期）
 - 四国支部 川村 高弘（音楽学科32期）

母校への寄贈品のお知らせ

今年度も母校への活動支援の一環として、同窓会費の一部を備品寄贈費として使用させていただきますました。同窓生の皆様にはご理解の程よろしくお願いいたします。

今年度も、昨年寄贈し好評だったベンチ2台を寄贈させていただきました。ベンチがあることで、中庭が憩いの場として賑わっている、学校関係者よりお聞きしています。ベンチが増えることでより一層学生生活が充実したものになるよう活用していただければ嬉しいのです。



寄付のご案内

同窓会しょうびでは、「同窓会運営」「同窓生支援」「同窓会情報発信」を定め、母校に貢献する母校支援活動をさらに展開して行くこととしております。今年も引き続き会員の皆様のご厚情を賜りたく、大変恐縮でございますが、1000円（10,000円）以上ご寄付いただければ幸いです。

今後とも会員の皆様方の絶大なご支援・ご協力をいただきながら、同窓会発展のため努力して参る所存でありますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

※会報誌折込別紙参照

【寄付金の使用目的】
同窓会全体の活動を積極的に展開することが同窓会の発展、同窓会会員への支援の向上に繋がるものでありますので、ご寄付の使用目的については、『同窓会活動、同窓会運営全般に充て、更なる会員支援の向上、同窓会運営の拡充へ有効に活用』とさせていただきます。

皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

山口芸術短期大学同窓会「しょうび」

〒754-0032
 山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号
 山口芸術短期大学内
 TEL:083-972-2880 FAX:083-972-4145
 同窓会しょうび公式ホームページ
<http://shoubi-yca.com/>
 メールアドレス shoubi@yamaguchi-jca.ac.jp
 山口芸術短期大学公式ホームページ
<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/>

編集後記

山口芸術短期大学同窓会しょうびの会報誌「至誠」4号の発行にご協力頂いた先生方、卒業生や在学生の皆様、誠にありがとうございました。

今回よりデザインをリニューアルした「至誠」ですが、卒業生のみならず、現役の学生さんにも制作に参加していただきました。同窓生と、これから同窓生になる現役学生と一緒に創る同窓会誌、いかがでしたでしょうか？

なお、活躍を報告して下さる同窓生、しょうびにレポートしてほしい同窓生、絶賛募集中です！

2024年はしょうびの一大行事、「大同窓会」の開催年です。よりたくさんの方の同窓生にお会いできることを楽しみにしております。